

## 議 事 録

1. 会議の名称	池田市史編纂委員会
2. 開催日時	平成31年3月7日（木） 午後1時00分～3時00分
3. 開催場所	中央公民館 会議室A
4. 出席者 ※委員長：◎ 副委員長：○	《委員》 小田 康德 ◎ 野高 宏之 ○ 松永 和浩 《事務局職員》 田淵教育長 齋藤教育部長 田上教育部次長 武田生涯学習推進課長 細谷主幹 山本主事
4. 議 題	(1) 平成30年度 市史編纂事業報告 (2) 平成31年度 市史編纂に伴う予算について (3) 池田市史の値下げについて (4) 豊中市文書館視察報告 (5) その他
5. 議事経過	別紙のとおり
6. 開・非公開の別 ※非公開の理由	公開
7. 傍聴者数	0名

## 開 会

**教育長** 編纂委員の皆様には、平素より池田市の文化財行政にご協力賜り、お礼申し上げます。来年度市制施行 80 周年を迎える。図書館と中央公民館にあった図書コーナーの池田駅前への移転・集約や、中央公民館、歴史民俗資料館、生涯学習推進課共同で市民が 80 年の歴史を振り返ることができるような写真展示を予定している。市史についても様々な課題や取り組みを進めていくことが求められる。どうか忌憚のない意見を賜ればと思う。

### (1) 平成 30 年度 市史編纂事業報告について

**事務局** 資料調査・収集・整理・広報などに加え、旧細河小の整備や将来的な公開も目指して資料の翻刻など、各種取り組みを展開。

**委員長** 資料を翻刻することで、読み方も変わる。貴重な資料なので次の市史の核にもなる。

**事務局** 翻刻して市民が興味を持ってくれる新たな資料を探している段階。

**副委員長** 新修池田市史は池田と周辺地域の話が中心となっているが、もう少し範囲を広めて資料を探せば、まだ池田のことが出てくるのではないかな。広い地域で池田を位置付けていくことが今後必要。

### (2) 市史編纂に伴う予算について

**事務局** 事業予算の調査に関わる部分としては 8 万円増額している。80 周年記念事業に関係するもの。他は例年通り。

**委員長** 80 周年事業の写真展の作業はもう着手しているのか。

**事務局** 写真の選定や、キャプション作成などの作業を進めている段階。

**副委員長** 写真の数やキャプションについては市民が見やすい情報量でまとめた方がいいのではないかな。また、写真の情報提供を求めてもいいかもしれない。

### (3) 池田市史の値下げについて

**事務局** 刊行から古いものでは 20 年経過し、さらに幅広く普及を図るため、また 80 周年記念ということで市史の価格を改訂する。併せてふるさと納税の謝礼品としても受け取れるようにする。市史を知ってもらいたい機会と捉え、PR に努めたい。

**副委員長** 柔軟で思い切った価格だと思う。魅力的な価格なので、研究室や学会に対しても PR するのいいのでは。

**委員長** 今後市史を新たに刊行することがあれば、その形態も考えていかないといけない。

### (4) 豊中市文書館視察について

**事務局** 豊中市では元教育センターとして使っていた施設に耐震工事を施した上で、行政文書を始め、市史編纂時に収集した古文書などを余裕を持って保管

している。保存年限の切れた行政文書を文書館が主体で、原課と相談の上歴史的・文化的文書として移管、保存している。歴史的・文化的文書保存利用規則上の取扱いで公開も実施している。

**副委員長** 非常勤とはいえ、人を配置して整理、保管作業しており、素晴らしい。文書館の意義を市民に伝えることが課題だ。

**事務局** 耐震工事も含めると莫大な予算が必要となり、池田市で同じ事をするのは難しいが、学ぶところが大きいにあった。

**委員長** 行政文書は膨大だが、池田も整理に手を付けていかななくてはならない。

#### **(5) そのほか**

**事務局** 歴史民俗資料館との統合も視野に入れた事業見直しのヒアリングを受けた。31年度中に歴史民俗資料館との連携や組織体制の見直しも含め検討していく必要がある。

**副委員長** 歴史民俗資料館と連携し、展示など行うことにより市史の知名度が上がるのは結構だが、展示に手を取られ、本来の業務が疎かになってはいけない。資料館と連携して行う展示もなるべく手間がかからない形にすべきでは。

**委員長** 市史の調査研究能力を歴史民俗資料館のために使うなど協力関係を深めることは進めていくべきだろう。

**閉 会**